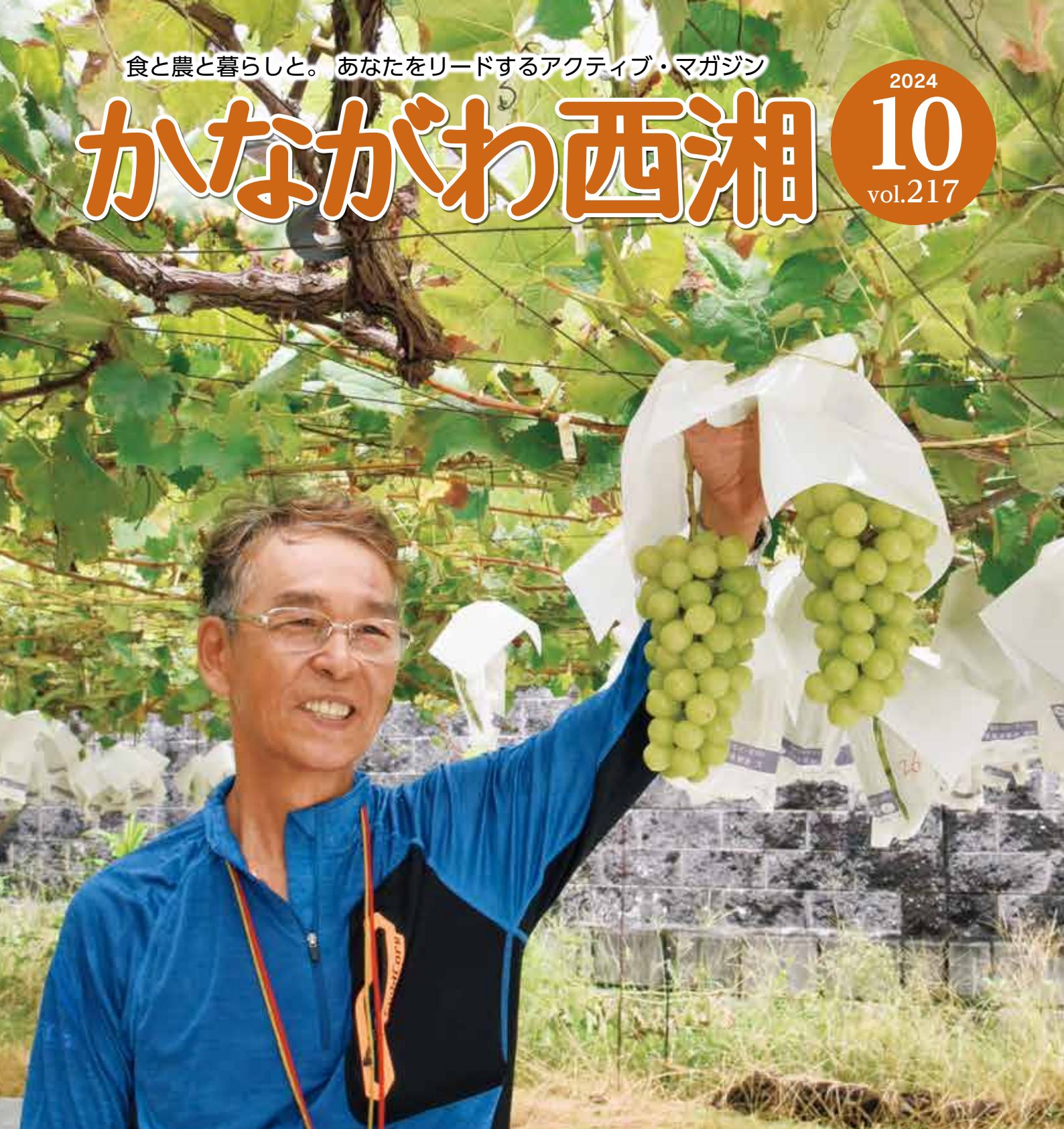


食と農と暮らしと。あなたをリードするアクティブ・マガジン

かながわ西湘

2024
10
vol.217



おいしさを追求

小澤 和義さん
下中/小田原市小竹

ブドウ30a、モモ10a、
キウイフルーツ、ミカンを
栽培

小田原市小竹で、果物を栽培している『あらや農園』の夫婦和義さん、ふみ代さん。特にブドウには代々を inherited しており、巨峰やシャインマスカットなど10種類を育てています。同園では、牡蠣殻や鶏糞などの堆肥を、ふんだんに使っています。丹精込めて育てたブドウはこれにより高品質でみずみずしいのが特徴。10月初旬まで直売のお店、県内外からもお客様が訪れ、お父さんお母さんお孫さんおじいちゃんおばあちゃんに引退したことをきっかけに和義さんが受け継ぎました。1本の木に200房がなるように摘果し、丁寧に軸の長さを調整や粒抜きなどの作業を行います。これにより大きいもので一房800gにもなります。和義さんは「ブドウは手間がかかる作物だが手は掛けた分だけ甘くおいしく仕上がる。これからは多くの人に喜んで作りたい」と抱負を語りました。

持続可能な農業政策を

2市8町の首長に農林施策・予算要望

J Aでは地域農業の確立に向けた農政活動として毎年、2市8町の各首長（市長・町長）に対して持続可能な農業政策及び予算を要望しています。今年は8月1日から20日にかけて、J A役員とともに農政対策委員、地域理事が『令和7年度農林施策・予算要望書』を提出しました。

共通部門の要望としては、食料安全保障政策や経営所得安定対策、農業経営基盤強化対策、有害鳥獣対策など6項目を求めました。特に食品衛生法の改正により、漬物などの農産加工品に営業許可が必要になったことを受け、公共の遊休施設を活用した共同の農産加工施設などの施策を講じていただくよう要望しました。個別部門では各支店運営委員会や農政対策委員会で積み上げた意見を集約。特に

多い要望としては用水路や農道の整備、遊休農地等解消に向けた対策など地域の抱える問題を掲げました。

8月5日には天野組合長、農政対策委員、理事など6人が小田原市の加藤憲一市長を訪問。農業振興に向けた要望書を手渡し、施策を求めました。加藤市長は「地域資源を守るため、命を育てる農業をJ Aと振興していきたい」と理解を示されました。

なお、税制や都市農業理解対策、農業労災保険の補償対象の拡充など、県や国に対する要望については、J A神奈川県中央会を通じて、8月27日に神奈川県へ提出されました。

共通要望

【食料安全保障政策】

- ① 『地産地消』への理解促進
- ② 『国産国産』運動に対する理解醸成の推進

- 【経営所得安定対策】
- ① 公共の遊休施設等を活用した農産加工品共同施設への改修
- 【農業経営基盤強化対策】
- ① 小型農業用機械の電動化の普及拡大に対する連携
- ② 農作業の効率化を目指したスマート農業に対する研究と実証試験

【有害鳥獣対策】

- ① 有害鳥獣対策における助成措置の拡充
- ② 豚熱感染確認地域における解除時期の早期化
- 【農業振興対策】
- ① 持続可能な地域農業の発展を目指したブランド力の強化

【地域活性化、食料安全保障の観点から、都市計画法、農地法、農業振興地域の整備に関する法律の見直し】

- ① 農村および中山間地域の農業活性化をはかる事業と予算の確保

令和6年度農林施策・予算要望に対する行政対応（抜粋）

松田町 農機具電動化補助金の創設

湯河原町 県に対してT1群（サル）を全頭除去するよう要望

南足柄市 新規就農者等に対する農地再生事業補助金の創設

理事会だより

主な議題

令和6年8月27日

◆令和6年度年金友の会親睦旅行先について

年金友の会役員総会において各支部で親睦旅行先を検討することとした結果、令和6年度第16回年金友の会親睦旅行は『スリゾートハワイアンズに泊まる福島の旅』一泊二日の旅に決定したことが報告されました。旅行期間は令和7年1月中旬～2月中旬となります。

◆組合員座談会の開催について

組合員との対話活動の一つとして、令和6年11月～12月に組合員座談会を各支店で開催することを協議した結果、承認されました。正・准組合員を対象として、議題は①自己改革の実践②令和6年度仮決算結果について③新エリア構想による移行後の具体的な業務内容など。③については令和7年4月に移行する『第2グループ』3エリア12支店のみ対象となります。

◆大窪・早川統合支店の名称等について

令和7年5月に完成を予定している大窪・早川新支店の名称について、両支店の組合員・利用者等から広く募集した結果に基づき協議し、名称が決定されました。220名の応募数上位4名称から、大窪・早川支店の組合員代表者等の協議を経て、統合新支店の名称は『城南支店』が選定されました。



小田原市役所で加藤市長（中央）に要望書を手渡す天野組合長ら

J Aの農地災害復旧事業補助金について

この度の台風10号により被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心からお祈りいたします。

J Aでは豪雨によって被害を受けた農地の復旧事業に対し、農業継続を目的として、補助金を交付いたします。なお、被害のご連絡、申請等のご相談は、最寄りの支店・営農経済センターにて承っております。



台風10号の大雨により崩れた農園

交付対象

- (1) 正組合員が日常的な管理により継続して農作物を作付けており、農業収入が発生している農地
- (2) 1箇所の工事費が20万円以上40万円未満または1箇所の工事費が40万円以上の復旧事業
- (3) 復旧後、当該農地で5年以上農業を継続すること
- (4) 現況への回復工事で、改善、拡張でないこと
- (5) 災害発生から3か月以内の申請であること
- (6) 復旧箇所の安全性と土地の境界について、申請者の責任において確認および管理されていること

補助金額

区分	補助金額
工事費20万円以上40万円未満	工事費の1/3から工事費の10%を差し引いた額
工事費40万円以上	10万円を上限に、国等の補助事業を勘案し、理事会で決定

※1,000円未満の端数切捨て

お米の出荷はJ Aへ！



J Aに出荷されたお米は県内の学校給食用として供給されていますが、供給量が不足しています。学校給食への供給量を伸ばすことは県産米の価格安定につながります。出荷にご協力ください。

事前の出荷契約の締結がない方でも、出荷は可能ですが、別途申込みが必要となります。(出荷契約がない場合は概算金の支払いはありますが、加算金の支払いは一切ありません)
※インボイス制度の都合上「組合員」名義で出荷いただく必要がありますのでご注意ください。

令和6年産米穀概算金

出荷契約米(参考)

(水稻うるち玄米)

単位：円30kg(税込)

品種名	1等
はるみ	7,250円

お問合せは各営農経済センターまで

米倉庫内ネズミ対策について

- ・物陰に沿って行動し、通路が一定している特徴があるので侵入口を塞ぐか粘着資材を設置する。
- ・倉庫内をきれいにする。(ネズミの巣の材料はティッシュペーパー、衣類、雑巾、ビニール袋、布団やバッグ、段ボール、新聞紙等)

※被害にあった袋のままでは出荷できません。

令和6年産 『湘南潮彩レモン』の 取り扱いがスタートします!!

令和6年産の集荷を12月～令和7年5月まで実施します。出荷を希望される方は期日までに最寄りの営農経済センターまでお問い合わせ下さい。

- ≪提出書類≫ ①令和5年産、令和6年産委託販売契約書
②令和6年産レモン出荷申告書
※令和5年産で委託販売契約書を提出済みの方は、①の書類は提出する必要はありません。

≪提出期日≫ 令和6年10月25日(金)まで

≪提出先≫ 最寄りの営農経済センター、中井支店、山北支店

※出荷契約者へは12月に実施予定の『出荷目合わせ』開催通知を別途案内します。

≪前年産支払平均単価(参考)≫ kg単価

秀優品：375円

良品：302円

特用(加工)：210円

※通常のレモンを出荷する場合でも、ここで委託販売契約書および出荷申告書の提出が必要となりますので、出荷希望者は必ず提出をお願いします。



湘南潮彩レモン 品種：『ビアフランカ』、『ユーレカ』、『リスボン』等の高酸系レモン
通常のレモン 品種：『マイヤーレモン』、『璃の香』、『レモネード』等のスイート系レモン

特集 吸汁カメムシを知る

—part2・果樹編—

前号に引き続き、今月は果樹カメムシについて、特徴や防除のヒントを解説します。

● 果樹カメムシ

スギやヒノキの球果を餌とし生育しますが、餌が不足すると果樹園に飛来し加害します。吸汁された果実は傷ができ、変形や腐敗などの原因になります。また、カメムシは集合フェロモンを放出し、群れる性質があります。今回は代表的な3種類の果樹カメムシを紹介します。



カメムシに吸汁されたキウイフルーツ

チャバネアオカメムシ

体長：10～12mm

名前の通り、茶色の羽をもつカメムシです。普段は体の色が緑色ですが、秋になると褐色になる個体も現れます。



ツヤアオカメムシ

体長：14～17mm

緑色で、ツヤがあるのが特徴です。強い紫外線を出す照明に多く集まります。



クサギカメムシ

体長：13～18mm

褐色で、細かい斑点があるのが特徴です。暖かいところを好むので、越冬のために家に入り込むことが多くなります。



写真提供：神奈川県農業技術センター病害虫防除部

● 大量発生の原因

① 針葉樹林が荒れている

スギやヒノキの針葉樹林が増えていることが、増殖源となっています。また、山の管理が行き届かず、花粉や球果の量が増えているのも大量発生の原因の一つと考えられます。

② 温暖化で成長が加速

温暖化で成長速度が速まり、繁殖サイクルも早まって世代数と発生率が増える原因になっています。

● 果樹カメムシ防除対策

- ・夜行性のため、夕方に見回りしましょう。
- ・集合フェロモンで集まるため、飛来を確認したら速やかにスタークル顆粒水溶剤などで防除しましょう。

今話題の忌避対策を実験してみました！

雑誌やネットで、「カメムシ対策には“ハッカ”が効果がある」や「“焼き肉のタレ”が効果ある」というのを見つけたので、実験してみました。ハッカはカメムシが苦手な匂いで、焼き肉のタレは酵素や香辛料、植物油脂などがカメムシよけになるそうです。

■材料

- ・ハッカ油、焼き肉のタレ
- ・水
- ・こし器
- ・スプレーボトル



①焼き肉のタレに入っているゴマなどは事前にこす



②①を水で7,500倍に薄める

※今回は2ℓの水に対して①を0.2ml～0.26mlほど加えました

いざ実験！～ハッカ油と、3種類の焼き肉のタレでTRY～

①ハッカ油



②焼き肉のタレA



③焼き肉のタレB



④焼き肉のタレC



※焼き肉のタレは比較的購入しやすい3種類をセレクトしました

キウイフルーツを10果ずつ選定。それぞれスプレーで笠紙に散布し、効果を確認します。(1回目を7月26日、2回目を8月6日に散布しました)



8月26日に果実を確認したところ、一番効果があったのは②の『焼き肉のタレA』。1個自然落下してしまったものの、6個は無事で67%防除できました。



果実の様子をチェックする職員



被害無



被害有

カメムシに吸汁されたあと

	①ハッカ油	②焼き肉のタレA	③焼き肉のタレB	④焼き肉のタレC
防除率	10個中4個被害有 60%	10個中3個被害有 (1個は落下) 67%	10個中6個被害有 40%	10個中4個被害有 60%

今回の実験結果はほんの一例にすぎません。気象条件や散布時期、畑の状況によっても異なってきますので、あくまで参考程度におとどめください。

※なお、今後も継続して実験を続ける予定です

他県のコメ作りを学ぶ

～はるみ米研究会がJAふじ伊豆を視察～

西湘はるみ米研究会は8月9日、JAふじ伊豆の御殿場地区を訪れ、育苗センター、ライスセンター、カントリーエレベーターを見学しました。カントリーエレベーターでは、収穫した籾を一定の温度と湿度で保ち、一括管理している様子や利点などを学びました。同地区は稲作が盛んで、『こてんばこしひかり』を栽培しています。また、全農の『もち米生産団地』に指定され、『峰の雪もち』の栽培も盛んです。参加した会員は「同地区では、もち米を収穫した後に、うるち米を収穫するという。私たちとは順序が逆。他県の様子を学べて勉強になった」と話していました。



JAふじ伊豆の職員から話を聞く会員たち

仲間と一緒に地域貢献

～青壮年部中井支部が草刈り作業～

青壮年部中井支部は8月19日、中井町の中村川土手、500mの草刈り作業を行いました。この土手は農家らが田んぼなどに行く道として活用されていますが、最近は草が生い茂り、通行する人から「道幅がわからなく脱輪や転落の危険がある」と危惧されています。そこで部員から支部の活動として草刈り作業を取り入れることを発案し、実現しました。

当日は、部員3人と新規就農者3人が参加しました。曾我尚人支部長は「中村川は子ども頃の頃によく遊んだ場所。自然豊かなこの里山の風景を次世代に残すため、部員とともに活動していきたい」と力を込めました。



みんなで集まって行う作業は楽しい

成田支店が詐欺防止

～警察署より表彰状～

成田支店は8月15日、振り込め詐欺を未然に防いだとして、小田原警察署より表彰を受けました。詐欺の手口は、大手通信関連会社の名称をかたり、架空の未納料金を請求するといったもので、スーパーのATMで引き出し、JAのATMで振り込むよう一連の流れを指示していました。携帯電話で話をしながらの振り込みを不審に思った支店長が被害を防いだということです。警察では「身に覚えのない請求が届いたら、家族や警察に相談してください」と呼びかけています。



表彰状を受け取る西山支店長

旬の野菜を召し上げれ

～女性部が料理講習会を開く～

女性部は、8月2日に小田原市の川東タウンセンターマロニエで安全・安心な国産食材を使った料理講習会を開きました。部員や担当職員の22支部45人が参加。旬の野菜を使った『トウモロコシの炊きこみご飯』や『オクラのとりとろ冷や汁』など5品の料理を手早く完成させました。今年の夏も気温が高い日が続き、火を使わず電子レンジで調理するメニューを増やすなど工夫しました。遠藤いすず部長は「力ロリーが低く夏らしい旬の野菜のレシピを学び、健康で豊かな食卓づくりにつなげてほしい」と呼びかけました。



旬の野菜をふんだんに使ったメニューがズラリ

地元の梨を学ぼう

～千代小学校で梨の授業～

上府中地区まちづくり委員会は9月3日、地元で栽培されている『足柄梨』について学び、農業への理解を深めてもらうと、千代小学校の3年生に梨の授業を行いました。講師を務めたのは、同委員会のメンバーで梨農家の小林正俊さん。授粉作業に使うはなてん（花天）やせん定せんてい（せんてい）梨に付ける袋など実際に使う道具を見せながら1年間の作業を説明すると、子どもたちは「一つひとつ手作業で大変」と農家の大変さを理解していました。小林さんは、「梨を通じて地元の農業について理解を示してもらえたのでは」と期待をよせています。



梨に付ける袋について説明する小林さん

JA横浜へ視察研修

～DX推進委員会でデジタル化を学ぶ～

当JAのDX推進委員会の職員14名は9月4日、DXを先進的に取り組んでいる『JA横浜』を視察し、kintone(キントーン)^{*}を活用したアプリの開発について学びました。『JA横浜』では紙での管理が多すぎる悩みに対して、職員の涉外日報のアプリ化や、支店でタッチパネルを使い、購買品の売上と注文ができる簡易POSアプリを導入しています。現在では700ほどのアプリを開発し、運用しているそうです。今回の視察を参考にして、当JAでも今後さまざまDXの改革を進めていきたいと考えています。

^{*}Webデータベース型の業務アプリ構築クラウドサービス



アプリを学ぶDX推進委員の職員

インフォメーション

正・准問わず
組合員対象

令和6年度 組合員・知っトク講座

第1回 親子で学ぶ地産地消！

日時：令和6年12月7日(土)
10:00~15:00(予定)
場所：南足柄市怒田地区
内容：『ミカン狩りと餅つき』
参加費：1人500円(1組4人まで)
募集人数：小学生以下の親子25人
募集期間：令和6年10月29日(火)~
令和6年11月8日(金)まで
応募多数の場合は抽選とします

第2回 しめ縄飾りを作ろう

日時：令和6年12月21日(土)
13:30~16:00
場所：JAかながわ西湘本店 大会議室
小田原市鴨宮627番地
内容：『しめ縄飾り作り』
参加費：500円
募集人数：20人
募集期間：令和6年11月5日(火)~
令和6年11月15日(金)まで
応募多数の場合は抽選とします

参加者については郵送にてお知らせします。

令和6年度『組合員・知っトク講座』の各イベント申込は、
JAかながわ西湘のホームページ内イベント情報フォームで受付→



※このイベントはJA共済の支援を受けています

農の総合メディア ~日本農業新聞を購読してみませんか~

日本で唯一の日刊農業専門紙です。営農技術や農畜産物のトレンド、農業経営の支援策、地域の話題など実利実益につながる情報をお伝えします。

○購読料：紙版 1か月 3,100円(税込) 電子版 1か月 2,403円(税込)

※紙版は最寄りの新聞店より配達されます。(一部地域では配達できない所があります)

お申込は各支店窓口まで

正組合員のみなさまへ

農作業中傷害共済(集団契約)のご案内

JAでは現在、農作業中の事故によるケガなど、万一に備えた農作業中傷害共済をおすすめしています。この機会にぜひ、ご加入ください。

年間を通じて加入はできますが、集団契約に合わせてご加入いただくと割安な掛金で契約いただけます。

お申込期間：令和6年10月1日(火)~11月20日(水)まで

詳しくは各支店までお問合せください

JA飲料キャンペーン

JA特選飲料が10月31日(木)まで期間限定価格

○湘南ゴールド
スカッシュ



290ml×24本
3,000円(税込)

○梅の風



290g×24本
2,400円(税込)

○みかん畑



195g×30本
3,300円(税込)

○湘南ゴールド



290g×24本
3,000円(税込)

○足柄茶



290g×24本
2,430円(税込)

○ほうじ茶



465g×24本
2,600円(税込)

○箱根山麓紅茶



490g×24本
2,600円(税込)

支店及び各営農経済センター等でお買い求めください

税務相談会・相続対策個別試算相談会及び法律相談会の 日程についてはホームページよりご確認ください

各相談会日程は
こちらから→



お申込み・お問合せ先：相談課 ☎0465(47)8176

[https://ja-kanasei.or.jp/
member/kumiai/schedule](https://ja-kanasei.or.jp/member/kumiai/schedule)



JAかながわ西湘

本店 〒250-0874 神奈川県小田原市鴨宮627番地
TEL:0465(47)8125

●かながわ西湘10月号(vol.217)令和6年9月20日(毎月20日発行)
●発行/かながわ西湘農業協同組合 ●発行責任者/宇留間優
●編集/組織企画部組織広報課

JAかながわ西湘ホームページ▶<https://ja-kanasei.or.jp/>

